



タイホウ コーポレーション オブ アメリカ



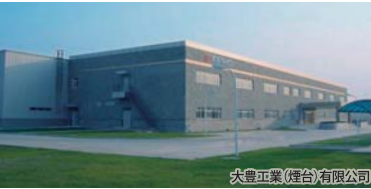
タイホウ ムサンタラ株式会社



タイホウ コーポレーション オブ ヨーロッパ



韓国大豊株式会社



大豊工業(連合)有限公司



タイホウタイランド株式会社



大豊工業株式会社



大豊工業株式会社技術本館



大豊精機株式会社



株式会社アイイーアイ



日本アズノ株式会社



株式会社タイホウパーツセンター



大豊岐阜株式会社

# 大豊工業株式会社

証券コード 6470

## 第106期 期末報告書 2011.4.1~2012.3.31

### CONTENTS

連結業績ハイライト／株主の皆さまへ  
「VISION 2015」達成に向けて  
・グローバルな視野でマーケットを拡大する  
・世界に認められる技術力を構築

決算概要

株式概況／会社概況

# 連結業績ハイライト

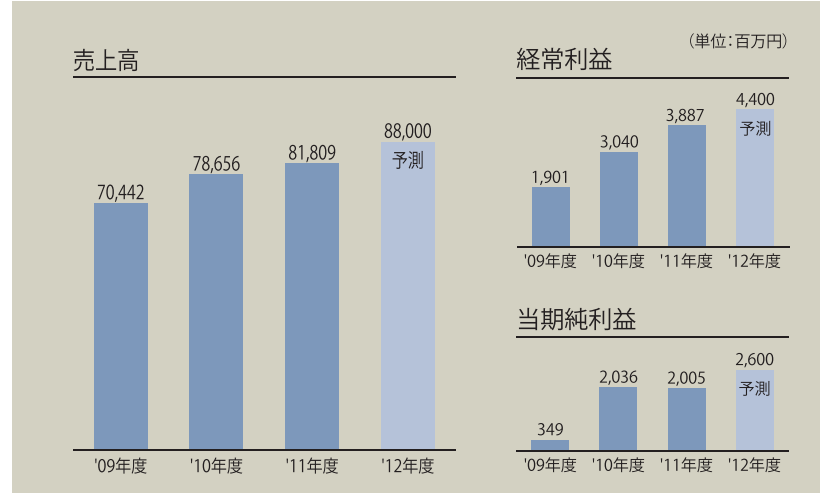
Financial highlight

## 2011年度実績

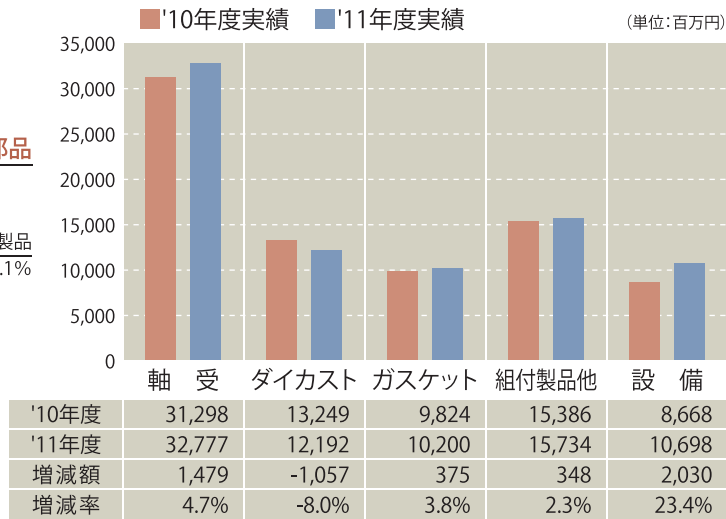
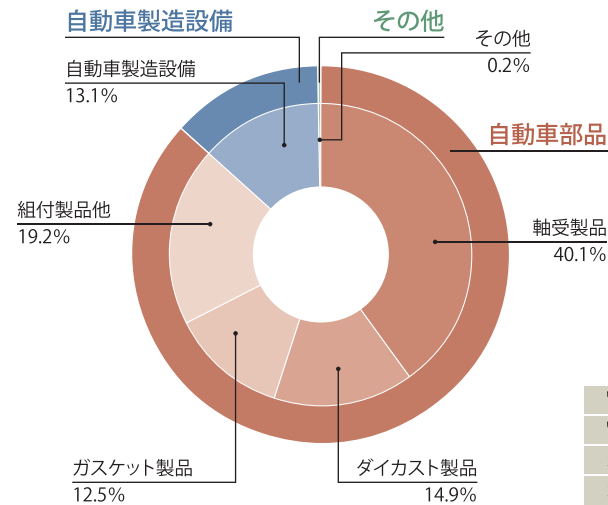
- 売上高 818億円
- 経常利益 38億円
- 純利益 20億円

## 2012年度予測

- 売上高 880億円
- 経常利益 44億円
- 純利益 26億円



## 事業別売上高



# 株主の皆さまへ

To stockholders

## ビジョン達成にむけて



株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2012年3月期の期末報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

### 【2012年3月期の決算概要】

2011年度は、大震災に伴う自動車生産停滞の影響を受け、第1四半期においては減産を余儀なくされるとともに、それに続く円高の進行やタイ洪水の影響により多くの減収減益要因を抱えることとなりました。しかしながら、第2四半期以降の自動車生産の回復、軸受の販路拡大、アフターマーケット向け軸受の売上増加などにより、2012年3月期の売上は、2011年3月期に対し4%の増収、営業利益で22%の増益となりました。

### 【活動成果】

さて、当社では2009年に設定したビジョン2015の実現に向けた活動を継続しています。その成果として、2011年度、新工法軸受ラインの生産準備移行、樹脂コーティング軸受の販路拡大および新工法の進展、国内外の軸受製造ラインの増強、低燃費車向けバキュームポンプの販路拡大、潤滑システムの新規開発着手など、多岐の分野で活動の進展を見えています。

### 【2012年度、会社を取り巻く環境】

2012年度、自動車各社の生産計画が拡大基調で推移する中、自動車部品業界においても、生産量の拡大が見込まれます。しかし、拡大市場が低価格車を中心とし新興国市場であること、為替状況は依然として円高基調で推移すること、欧州ソブリン危機の継続、秋以降の国内市場の不透明さなど、不安材料を抱えた状況は続くと考えられます。

### 【2012年度の活動計画】

引き続き厳しい経営環境下ではありますが、当社では、ビジョン2015の下で計画した開発・生産・管理改革を継続してまいります。2012年度は、今中期経営計画の最終年度であると共に、ビジョン2015の実現期間である次期中期経営計画期間に先立つ締めめの年とも位置付けられます。2013年3月期予測値を売上880億円、営業利益46億円とし、軸受の拡販・収益性向上を図るとともに、次期中期経営期間における新製品の開発を強化してまいります。

今年度も、全社一丸となった取組みを強化し、目標達成に向けて活動を進めてまいります。

株主の皆さまには、引き続きご支持・ご鞭撻をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

2012年6月  
代表取締役社長 上田建仁

## 会社方針

### 中期経営計画 (2010~2012年度)

- 中期経営方針 **基本に忠実な企業体質づくりと未来への飛躍**
- スローガン **基本にかえり、未来を創造**

## 2011年度を振り返って

2011年3月の東日本大震災により、サプライチェーンは大打撃を受け、長期にわたり生産が低迷、2011年度のスタートは先行きの見えないものでした。その後も、ユーロ危機や超円高、電力問題、タイの大洪水など、私たち部品製造業にとってネガティブな出来事が相次ぎました。

しかし、2011年度は、これまでの「VISION 2015」達成に向けた継続した活動により、取り組みの成果が見えてきた年度でもありました。

ここでは、その取り組みと進捗、さらに今後の展開についてご報告します。



## 2011年度までの実績

「VISION 2015」の策定は2008年度に行われましたが、リーマンショックの影響を受け、当社も売り上げ・収益ともに大幅に減少、2009年内は収益改善策が急務で、「VISION 2015」達成に向けた具体的な取り組みは2010年初頭からスタートしました。

はじめに着手したことは、最優先課題に対して8つのプロジェクトチームを作り、機能横断的に仕事を進められるようにしたことです。

具体的には、製法刷新、生産力強化、新製品開発、グローバルな営業拡販などを進めてきました。

製法刷新においては当社主力製品であるエンジンベアリングの「新工法

RR(良品廉価)軸受ライン」が完成し、本年7月には量産を開始します。

このラインはグローバルラインとして新興国にある大豊グループの生産ラインへ展開してまいります。

さらに、「新コンセプトめっきライン」も完成し、生産準備を行っています。

営業面では、特にRAコーティングエンジンベアリングの拡販を推進、国内はもと

より、海外の自動車メーカーの新型エコカーに採用され、2008年の約2倍の出荷量に達しています。今後さらに、製法刷新により製品の競争力を高め、欧米での生産も計画しています。

新製品開発では、今後予想されるニーズに合わせてバキュームポンプのラインナップを充実させました。

また、トラック以外に乗用車向けEGR

バルブの開発を進め、一部は新型エンジンへの採用が決まっています。

## 2012年度の位置づけ

2012年度は2010年度を初年度とする「中期経営計画」の締めくくりの年であり、次年度からの「新中期経営計画」策定の年度です。さらに「VISION 2015」達成期限の中間期として、その基盤確立を重要なものとする重要な年度と考えています。



## 収益改善 基盤確立

## 成長と飛躍

### 緊急収益改善

1. 工場の改善
2. 固定費の圧縮

## VISION 2015 達成に向けた取り組み

### 高収益体質の確立

1. 製法刷新
  - ・新工法軸受の確立
  - ・新ダイカスト技術の確立
2. 生産性向上
  - ・IT革新
  - ・工場の革新と再編
  - ・工機事業三社の協業



### 成長基盤の確立

1. 組織のスリム化と効率化
2. プロジェクト体制の確立
3. グループ力の強化



### 新商品をもって飛躍

1. システム商品 (EGR、V/P、潤滑システムなど) の拡大

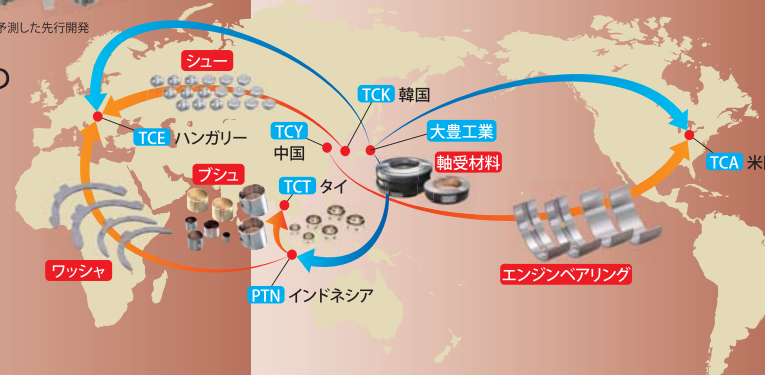


### 既存コア商品の成長

1. 海外展開促進
2. 軸受の新分野開拓

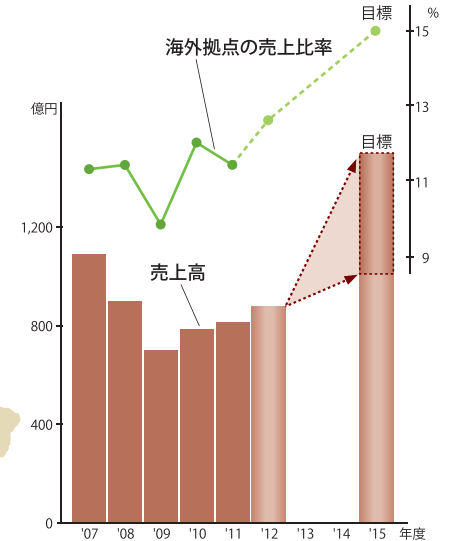


### 大豊グループのネットワークを強化して世界最適生産を目指す



## 大豊グループ売上高推移

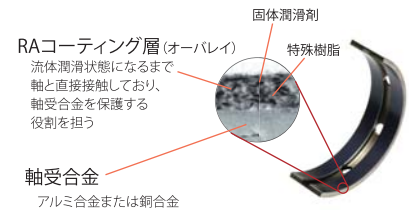
2007～2011年度は実績



## 第三世代のRAコーティングへ

「VISION 2015」では「**自動車用すべり軸受分野で、世界No.1の実現**」を掲げており、その行方を左右するものが「RAコーティング」だと考えています。

RAコーティングは特殊な樹脂に固体潤滑剤を配合し軸受表面を保護するコーティング材で、当社独自開発の軸受材料として、約20年前に公開して以来、現在までに7件の特許取得(トヨタ自動車(株)との共同開発分を含む)をしています。



従来、高出力エンジン向けのエンジンベアリングは軸受表面に鉛を含んだ金属をめっきする方法が一般的でした。鉛はすべり軸受の材料として大変都合の良い特性を持っており、すべり軸受から鉛を排除をすることは困難とされていました。

当社は1980年代後半、2つの目標を掲げRAコーティングの開発に着手、1つは

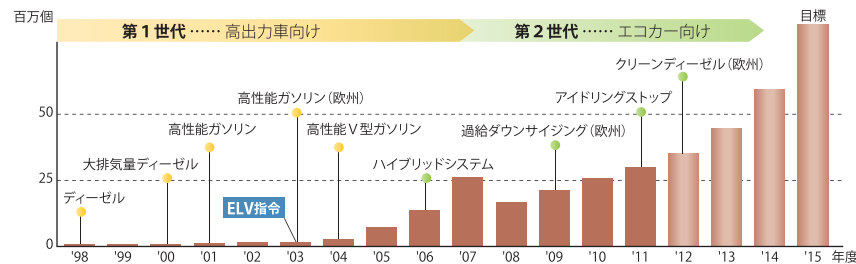
環境負荷物質である鉛を排除し、どこよりも早く鉛フリーエンジンベアリングを実用化すること、もう1つは鉛以上の効果を発揮する材料を開発し、今までの常識を覆すことでした。

1990年代前半で研究開発を完了、1998年に7400cc 6気筒ディーゼルエンジンに採用され、RAコーティングを施した鉛フリーエンジンベアリングの性能が実証されました。

そして欧州ELV(End-of Life Vehicles)指令により鉛の使用が禁止された時点で、性能、生産量ともに他社を上回り、開発時に掲げた2つの目標を達成することができました。当社ではこれをRAコーティングの「第一世代」と捉えています。

その後もさまざまなエンジンの特性にあわせた材料の改良を続け、付加価値を高めてきました。

## RAコーティングエンジンベアリング納入数の推移 1998~2011年度は実績



近年の自動車の環境対応技術において、RAコーティングがもつ低フリクション特性は、高出力・高性能エンジン以外にエコカー用エンジンにも効果を発揮し、ダウンサイジングされたエンジンや660ccクラスの小型エンジンへの採用も広がっています。これらをRAコーティングの「第二世代」と考えています。



そして今、グローバルスタンダードを目指し「第三世代」のコーティング材の開発を進めています。

## 設備製造に新たな発想

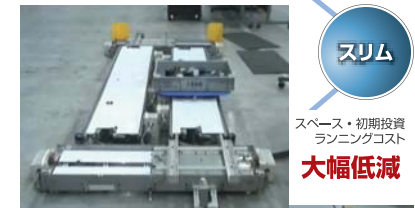
大豊グループの中で設備製造の中核を担うのが大豊精機(株)です。

自動車産業において、モノづくりの現場での環境対応も重要な課題です。

デジタルエンジニアリングを駆使してムダのない設備づくりを進めるとともに、「シンプル・スリム・エコロジー」をテーマに、今までにないユニークな環境対応型の設備づくりに取り組んでいます。



わずかな力で移動可能な画期的な搬送機で省エネ効果が高く、ストックラックなどと組み合わせることでスタッフの省人化も可能になります。



## 既存技術を新ジャンルに応用

日本ガスケット(株)は創業以来、シリンドラヘッドガスケットを中心にエンジン周りのガスケット開発と製造を続けてきました。

ガスケット製造は各時代ごとのエンジンに最も適した材料と製法の開発から始まります。これを背景に同社は、これまでにさまざまな技術を構築、中でもソフトガスケット製造で培った「抄造技術」をガスケット以外の製品に応用しています。

「抄造技術」とは、繊維を水の中で均一になるまで攪拌し、脱水してシート状にする「紙すき」の技術です。同社では熱硬化性樹脂と強化繊維を抄造した上で、加熱圧縮成型した高強度摺動材を生産、さらにこの技術を応用した新ジャンルの製品開発を進めています。



## CSR

企業価値を高めるためには、良い商品を市場に送り出すことは言うまでもなく、社会貢献により企業としての信頼を高めることも重要と考えています。

## 地域から全国へ幅広い社会貢献活動



豊田市消防本部などによる「街頭防火宣言」で1日消防署長を勤めるなど、自動車技術会主催のキッズエンジニアで、こども向け「まさつのふしぎ」教室を毎年開催、本年度は大阪で開催されました。

## 大豊工業のボランティアプログラム

実施月	実施活動 (11年度実施)
4月	●サンホーム豊田開設記念祭
5月	●オールドヨタ協働企画 森林整備体験
6月	●ひかりの丘活動 ●第8回 青い空まつり ●ひかりの丘活動
8月	●ひかりの丘活動
9月	●障がい者ふれあい交流軽スポーツフェスティバル
10月	●第2回 光の家まつり ●ALL TOYOTA Big Holiday「ボランティアプラザ」 ●第15回 宝町ひかりの丘まつり
11月	●第24回 むもんまつり ●第27回 大豊祭 ●第33回 豊田マラソン大会
12月	●松竹梅・寄せ植え鉢製作
1月	●新成人お祝い会
2月	●崇化館中学校の校庭樹木剪定 ●障がい者・健常者交流ダーツ大会 ●ひかりの丘活動

# 決算概要

Financial Statements

## ■ 連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当連結会計年度末 2012年3月31日現在	前連結会計年度末 2011年3月31日現在	科目	当連結会計年度末 2012年3月31日現在	前連結会計年度末 2011年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>			<b>【負債の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>39,263</b>	<b>34,211</b>	<b>流動負債</b>	<b>20,269</b>	<b>19,833</b>
現金及び預金	12,567	10,378	支払手形及び買掛金	12,314	10,252
受取手形及び売掛金	15,204	15,154	短期借入金	300	300
有価証券	299	300	未払費用	4,072	3,838
たな卸資産	6,242	5,828	その他	3,581	5,442
繰延税金資産	1,170	1,251	<b>固定負債</b>	<b>19,364</b>	<b>15,903</b>
その他	3,786	1,321	長期借入金	16,965	13,281
貸倒引当金	△7	△23	退職給付引当金	1,344	1,340
			その他	1,053	1,281
<b>固定資産</b>	<b>44,805</b>	<b>45,002</b>	<b>負債合計</b>	<b>39,633</b>	<b>35,737</b>
有形固定資産	40,342	39,893	<b>【純資産の部】</b>		
建物及び構築物	10,366	10,285	<b>株主資本</b>	<b>46,476</b>	<b>45,005</b>
機械装置及び運搬具	12,589	14,428	資本金	6,213	6,193
土地	12,971	12,687	資本剰余金	9,682	9,662
建設仮勘定	3,567	1,588	利益剰余金	30,770	29,338
その他	848	903	自己株式	△190	△190
無形固定資産	615	548	その他の包括利益累計額	△2,440	△1,977
投資その他の資産	3,847	4,560	他有価証券評価差額金	395	310
			為替換算調整勘定	△2,835	△2,287
<b>合計</b>	<b>84,069</b>	<b>79,213</b>	<b>新株予約権</b>	<b>95</b>	<b>97</b>
			<b>少数株主持分</b>	<b>304</b>	<b>350</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>44,435</b>	<b>43,476</b>
			<b>合計</b>	<b>84,069</b>	<b>79,213</b>

## ■ 連結損益計算書

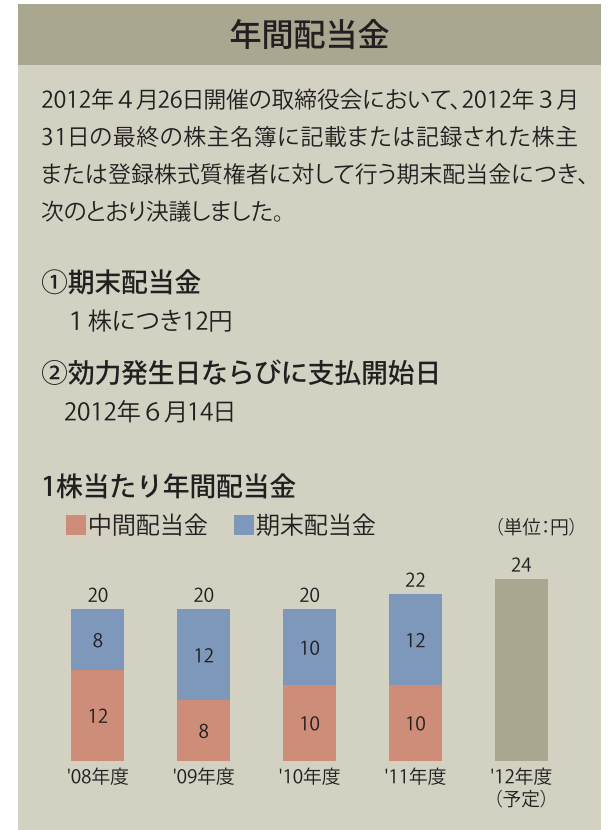
単位:百万円

科目	当期連結累計期間 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	前期連結累計期間 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>81,809</b>	<b>78,656</b>
売上原価	66,963	65,107
販売費及び一般管理費	11,280	10,646
<b>営業利益</b>	<b>3,565</b>	<b>2,902</b>
営業外収益	769	781
営業外費用	446	643
<b>経常利益</b>	<b>3,887</b>	<b>3,040</b>
特別利益	155	78
特別損失	885	393
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>3,157</b>	<b>2,726</b>
法人税、住民税及び事業税	523	775
法人税等調整額	627	△135
少数株主損益調整前当期純利益	2,005	2,086
<b>少数株主利益</b>	<b>0</b>	<b>50</b>
<b>当期純利益</b>	<b>2,005</b>	<b>2,036</b>

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当期連結累計期間 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	前期連結累計期間 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,360	6,999
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,086	△1,976
財務活動によるキャッシュ・フロー	531	△8,942
現金及び現金同等物に係る換算差額	△155	△277
現金及び現金同等物の増減額	2,650	△4,196
現金及び現金同等物の期首残高	9,445	13,641
現金及び現金同等物の期末残高	12,095	9,445



# 株式概況 (2012年3月31日現在)

Stock information

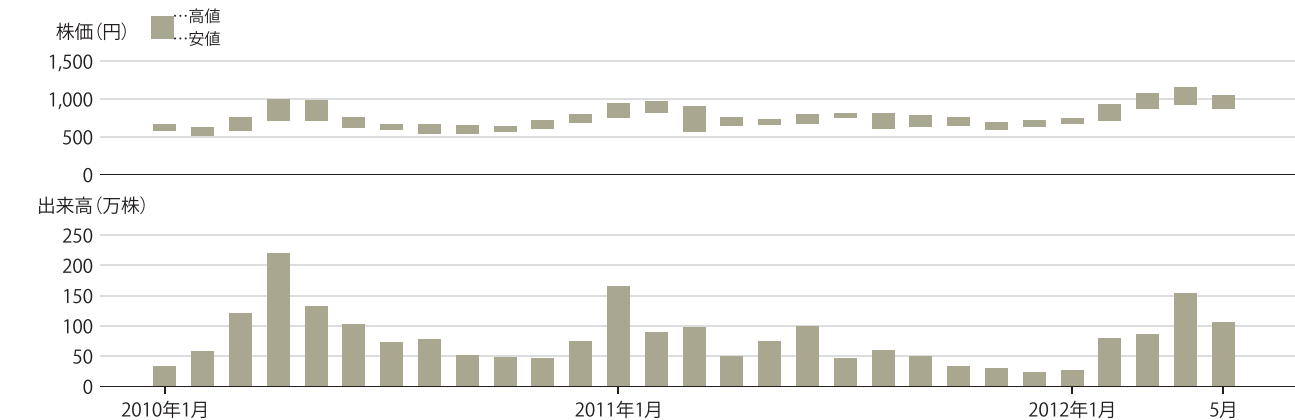
## 株式の状況

発行可能株式総数 48,400千株  
 発行済株式の総数 28,264千株  
 株主数 4,344名

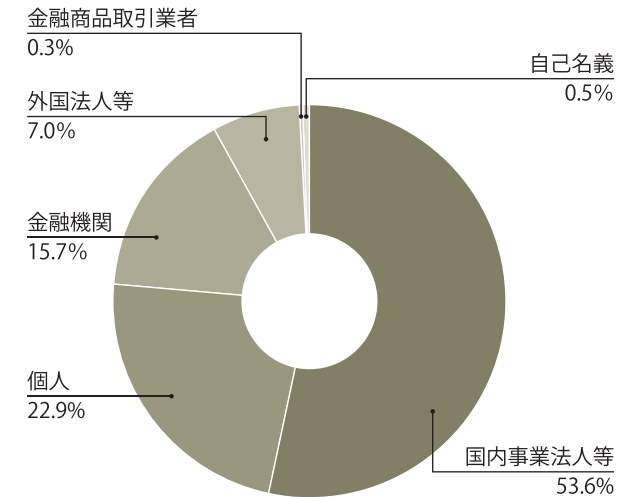
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,446
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
豊田通商株式会社	1,071
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	658
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	558
大豊工業従業員持株会	509
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	438
野々山 秀夫	305

## 株価の推移



## 所有者別株式分布状況



# 会社概況 (2012年3月31日現在)

Corporate profile

## 会社概要

創業 1944年12月  
 資本金 62億1千3百万円  
 従業員数 連結:3,550名 単独:1,650名  
 本社所在地 〒471-8502  
 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65  
 TEL (0565) 28-2225 (代表)  
 事業内容 軸受製品、ダイカスト製品、ガasket製品  
 組付製品他、精密金型  
 上記の製造および販売

## 事業所および営業所

本社/本社工場(愛知県豊田市)  
 細谷工場(愛知県豊田市)  
 篠原工場(愛知県豊田市)  
 九州工場(鹿児島県出水市)  
 幸海工場(愛知県豊田市)  
 東京営業所(東京都中央区)  
 大阪営業所(大阪府大阪市)

## 国内子会社

大豊精機株式会社(愛知県豊田市)  
 株式会社ティーイーティー(愛知県春日井市)  
 株式会社タイハウライフサービス(愛知県豊田市)  
 日本ガasket株式会社(愛知県豊田市)  
 株式会社タイハウパーツセンター(岐阜県土岐市)  
 大豊岐阜株式会社(岐阜県可児郡)

## 主な海外子会社

タイハウ コーポレーション オブ アメリカ(アメリカ)  
 タイハウ ヌサンタラ株式会社(インドネシア)  
 タイハウ コーポレーション オブ ヨーロッパ 有限会社(ハンガリー)  
 韓国大豊株式会社(韓国)  
 大豊工業(煙台)有限公司(中国)  
 タイハウ タイランド株式会社(タイ)

## 取締役 (2012年6月13日現在)

代表取締役社長 上田 建仁  
 代表取締役副社長 斎藤 和幸  
 取締役専務執行役員 山崎 謙一  
 取締役専務執行役員 近藤 隆彦  
 取締役常務執行役員 川上 真也  
 取締役常務執行役員 神谷 莊司  
 取締役常務執行役員 楠 隆博

## 監査役 (2012年6月13日現在)

常勤監査役 佐藤 章雄  
 常勤監査役 竹中 章  
 監査役 増井 敬二  
 監査役 井上 洋一  
 監査役 安田 益生

## 執行役員 (2012年6月13日現在)

執行役員 佐藤 英知  
 執行役員 河合 信夫  
 執行役員 佐藤 光俊  
 執行役員 大河内 光人  
 執行役員 辻 宏和  
 執行役員 川治 豊明  
 執行役員 高間 建一郎  
 執行役員 吉井 利治  
 執行役員 岸 吉信

## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
ホームページ	<a href="http://www.taihonet.co.jp/">http://www.taihonet.co.jp/</a>

## ■ 株式関係のお手続きについて

1. 株式関係のお手続きにつきましては、お取引先の証券会社までご連絡ください。また、特別口座で管理されている株につきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **大豊工業株式会社**

お問い合わせ先 TEL (0565) 28-2225 (代) 総務部広報室